

名古屋市 緑生涯学習センター

③いざというとき助けるために

— 命を守る応急処置の技術 —

日 時：令和元(2019)年7月2日(火) 10:00～12:00

場 所：名古屋市 緑生涯学習センター

主 催：名古屋市教育委員会 生涯学習課

参加者：15名 《緑区在住》

講 師：NPO 法人 愛知県防災士会 防災士

森 千代子 (副理事長・兼 研修委員長)

ファシリテーター：6名

寺島 一徳(理事長)

手塚 哲郎(副理事長・筆頭総括)

保坂 松男(理事・常任顧問)

原田 友子(理事・副広報委員長)

宮澤 昌嗣(理事・副研修委員長)

阿部 健二(理事・事務局長 兼 広報委員長)

今年度最後の緑生涯学習センターでの防災講習会を迎え、シリーズとして三つのテーマに基づいて講演並びに実技演習を以下のとおり行ってきました。

- ① 6月 4日(火) 10:00～12:00 講師：保坂 松男「災害への備えは必須～忘災で後悔しないために～」公開講座
- ② 6月18日(火) 10:00～12:00 講師：手塚 哲郎「ロープで助かる命がある～ロープワークの技術～」実技講習

平成28(2016)年4月14日～16日に発生した熊本地震による被害状況を写真に収め、パネルにした物を正面ホワイトボードの棚の部分から窓際等わたり配置し、参加者等の視覚へ地震の怖さ、悲惨さを訴えるためにパネル展示を森講師が行いました。

また、実際に熊本へ出向き被災状況を目の当たりにされた森講師が感じたこと、また、被災者へのいたわりを、参加者の皆様へ少しでも理解して頂こうとお伝えしました。

次に、慌てずに救急車を呼ぶには、何回も練習をつんだりしないと動揺せ

ず冷静沈着に行動することは、大変難しいことを説き、実際に救急車を呼ぶ際の注意事項とやり方を説明しました。

そのあと、AED トレーナー並びに胸骨圧迫をされたことのない参加者を中心に実技演習に入って行きました。

実際、見るのと実技演習をするのとでは、大きな開きがあることを、体験しながら初めてチャレンジをされたことによって、新たな感覚で学ばれた参加者が多いと感じました。

そのあと、講師は「気道の確保」、「人口呼吸」、「心臓マッサージ」、「電気ショック」の順番にやって見せ、一通りの流れを参加者に教え、人の命を救う大切な「胸骨圧迫」の感触を理解して貰うために、参加者全員にやって頂きました。

途中休憩の時間を挟み、後半は、三角巾を使っての応急手当実習の時間に割り振ることとし「たたみ三角巾の作り方」、「腕を吊る」、「膝を包む」、「頭を包む」方法のほか、新聞紙を加工した添え木を腕や足に巻き付けて骨折患部の応急処置についてやり方を教えました。

限られた時間内に盛りだくさんの実習があるため、森講師は時間をかけて、参加者の皆さんに覚えて頂こうと目配り気配りをしながら2時間の実技講習を終えました。



森 講師の紹介



胸骨圧迫のやり方の手ほどき



胸骨圧迫の実体験



三角巾の使い方の手ほどき